

ICA京都 × Port B



修学旅行 プロジェクト

参加者募集



ゴールデン・トライアングル編

「修学旅行プロジェクト」は、演出家・高山明（Port B）による《架空の修学旅行をつくる》というアートプロジェクトを基盤に、ICA京都と協働して展開する国際的な教育・文化交流プログラムです。アートを学ぶ学生たちが「旅」を通して世界と出会い、社会を観察し、歴史を学び、現代におけるアートのあり方を考えることを目的としています。

修学旅行先 タイ・チェンライ、ゴールデン・トライアングル経済特別区

開催日時 2026年2月9日(月)～14日(土) (6泊7日) (予定)

対象 京都芸術大学に在籍する学部生、および大学院生 5名程度

参加費用 実費負担分：渡航券代・現地食費（ICA京都が宿泊費を負担します）

成果発表 帰国後にドキュメンテーションおよび報告会を実施

参加にあたり 「旅を通してアートについて考える」修学旅行になります。参加者には、アートだけでなく、都市や現地の社会課題に向き合い、今一度アートのあり方を考え直す姿勢が求められます。

応募方法

応募フォームに必要事項を記入して送信してください。

応募〆切：2025年11月10日（月）9:00

選考は、書類審査の後、高山明氏との面談を行い決定します。

書類審査結果発表：11月13日（木）

高山明氏との面談：11月17日（月）

最終審査結果発表：11月21日（金）

応募フォーム



修学旅行プロジェクト 参加者募集



旅を通してアートについて考える

「修学旅行プロジェクト」は、演出家・高山明（Port B）による「架空の修学旅行をつくる」アートプロジェクトを基盤に、京都芸術大学の「ありえるかもしれない修学旅行」として発展させていく試みです。本プロジェクトは、訪問先となるアジア各地を結ぶ文化交流のプラットフォームになることを目指すとともに、世界に触れることを通して学生がアートのあり方を問い直す機会となることを目的にしています。2025年度から3年間にわたり継続的に実施する計画で、美術大学が試みる新しい修学旅行のかたちです。

初回の2025年度は、タイ・ラオス・ミャンマーが接するゴールデン・トライアングルを訪れます。かつては世界最大の麻薬密造地帯でしたが、取締強化で麻薬撲滅が進み、各国が新たな経済基盤を模索する、政治・経済・文化の違いが際立つ場所です。タイは観光とアートによる再生、ラオスは中国資本による都市開発、ミャンマーの情勢は不安定で入国を避けるべき状況です。三国にまたがるシャン高原は「ゾミア」と呼ばれる無政府地帯となっており、世界中のNGOが社会課題の解決のために集まっている地域です。そうした場所における社会活動やアートの有り様を観察することで、それぞれの違いや長所短所を考察することができるでしょう。ゴールデン・トライアングルは現代世界の諸問題が集中しているだけでなく、観光地としても注目されている場所であり、アートを学ぶ学生が「修学旅行」で訪れるべきところだと考えました。

ナビゲート

高山明：演出家・アーティスト。東京藝術大学大学院映像研究科教授。演劇ユニットPort B（ポルト・ビー）主宰。実際の都市を使ったツアー・パフォーマンスや社会実験プロジェクトなど、現実の都市や社会に介入する活動を世界各地で展開している。近年では、美術、観光、文学、都市開発といった異分野とのコラボレーションに活動の領域を拡げ、演劇的発想・思考によってさまざまなジャンルでの可能性の開拓に取り組んでいる。

田中沙季：Port B プロジェクトマネージャー

中山和也：ICA京都副所長、京都芸術大学クロステックデザインコース、大学院グローバルゼミ教授

スケジュール

参加者決定後に、渡航についての準備なども含めた事前勉強会（2025年12月）、修学旅行後に報告会（2026年4月）を予定しています。また、旅行後にレポートの提出があります。

修学旅行プロジェクト 参加者募集

参加費用

実費負担（航空券代・現地食費）：7万円～12万円程度（航空券の価格による）

航空券代（各自で購入：往復7万円～12万円）、および現地での食費は自己負担となります。現地での移動費、宿泊費はICA京都が負担します。

集合場所はチェンライのチェンライ国際空港、解散はチェンマイのチェンマイ国際空港となります。渡航に関することや航空券購入のサポートなどはしますが、航空券は各自で購入してください。各自で選択し、航空券代金を抑えることができると思います。現地の宿泊先はICA京都が手配します。

よくある質問（FAQ）

Q：どのように応募すればよいですか？

A：指定の応募フォームに必要事項を記入して応募してください。関心のあるテーマを記入した上で、ポートフォリオ、またはこれまでの研究や活動を紹介する資料をアップロードしてください。

Q：参加するために、特別な準備は必要ですか？

A：自分の関心があるテーマに合わせて事前リサーチをしておくことと修学旅行が有意義なものとなるように思います。

Q：修学旅行期間中に観光は可能ですか？

A：いいえ。修学旅行期間中は、修学旅行の旅程に合わせて活動します。ただし、修学旅行前後には、自己負担、自己責任にて観光をすることが可能です。

Q：参加者の選考基準は何ですか？

A：応募者の関心や学びたいテーマ、アートやデザインに対する意欲を重視して行います。

Q：参加者は英語を使うことが求められますか？

A：現地の方（ホテル滞在なども含め）とのコミュニケーションでは英語を使用することが多いでしょう。英語が心配な方は、翻訳アプリなどを活用してください。

Q：修学旅行後に成果物を求められますか？

A：修学旅行後には、修学旅行での記録、体験と学びをドキュメンテーションなどにまとめ、報告会で共有します。

Q：修学旅行期間中の食事はどうなりますか？

A：レストランなどに入り、自費での支払いになります。

